

<参考資料>

港湾内海水における放射性セシウム濃度の深さ方向の サンプリング調査結果

2015年12月28日
東京電力株式会社

1. 概要

■目的

港湾内海水における放射性セシウム濃度の深さ方向の状況を把握

■調査地点

港湾内7地点（1～4号取水口開渠外）において、海面（水深0～0.5m）から海底付近（海底の直上0.5m）までの3つの深度におけるCs-137濃度を調査（2. 調査地点位置図 参照）

■調査日時

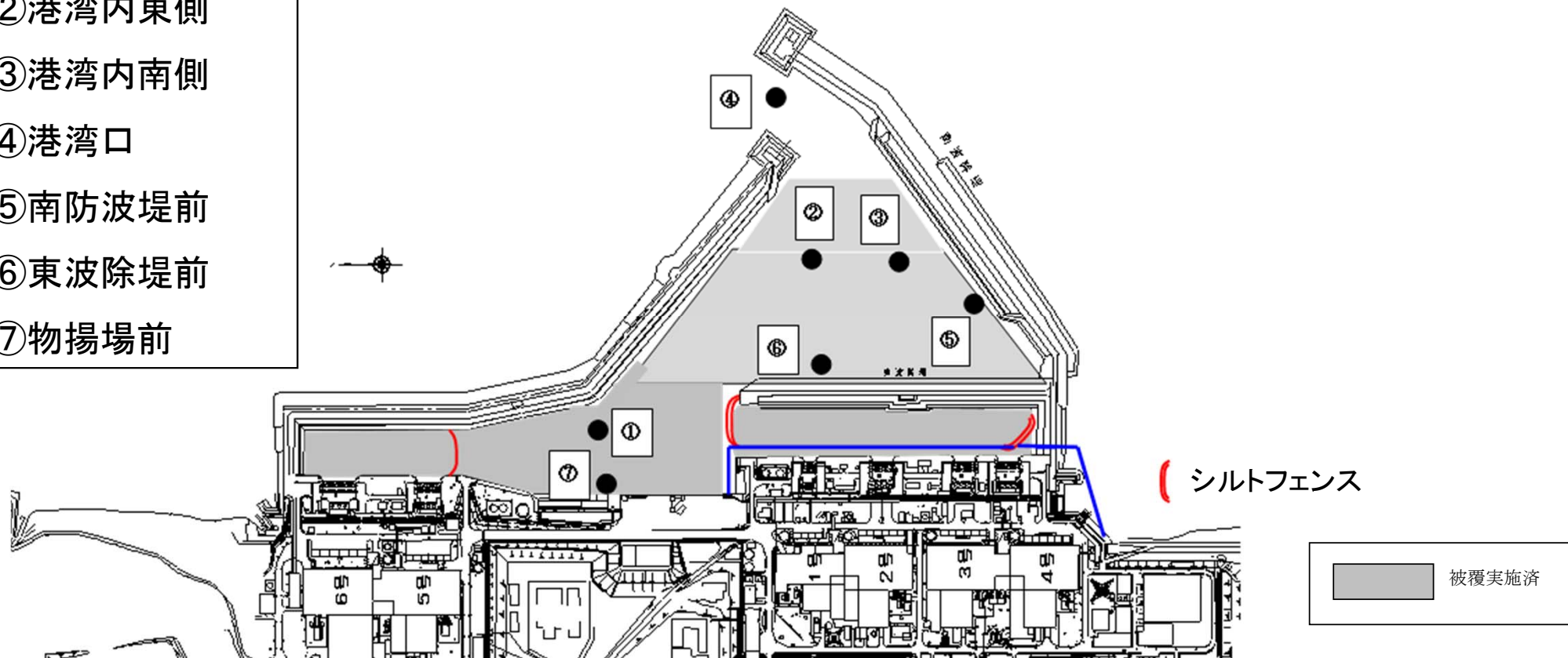
2015年10月14日（水） 9:20～10:28（潮の流れが小さい干潮時）

■結果

調査した7地点のいずれにおいても、海底付近におけるCs-137濃度は、海面の値に比べ、同等若しくは低かった（3. 測定結果 参照）。

2. 調査地点の位置

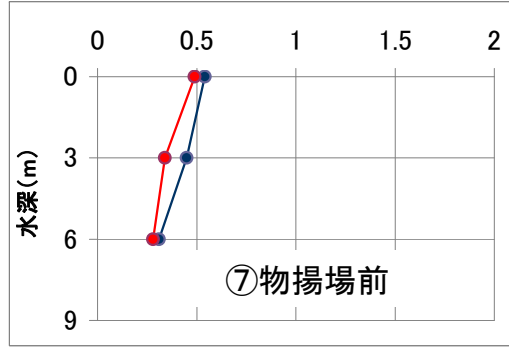
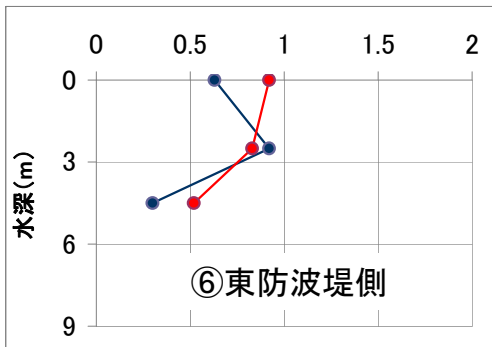
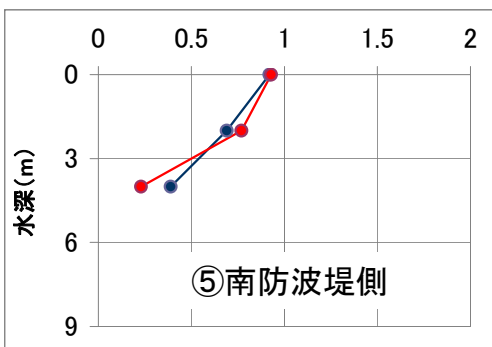
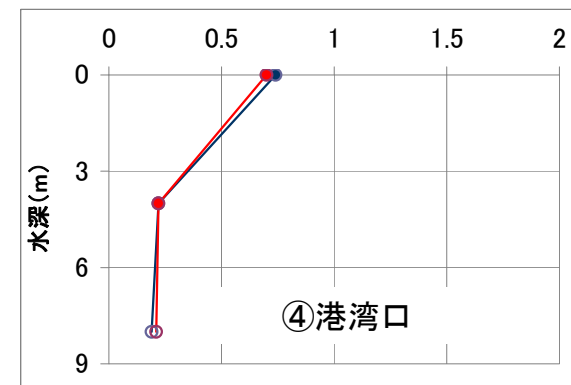
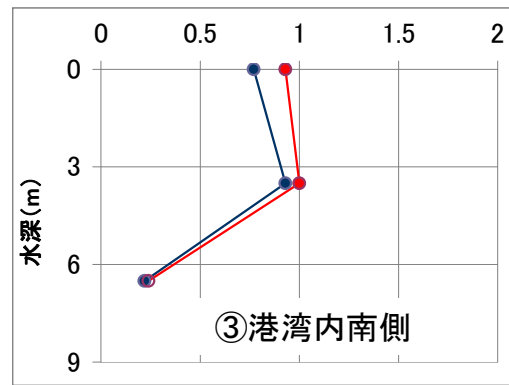
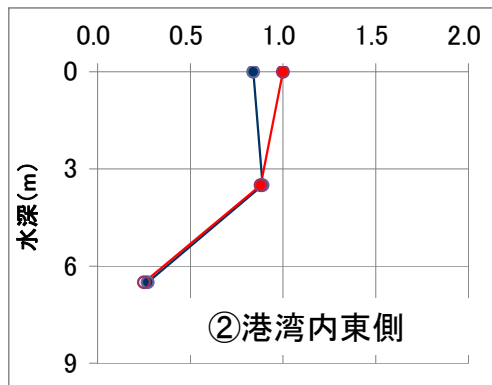
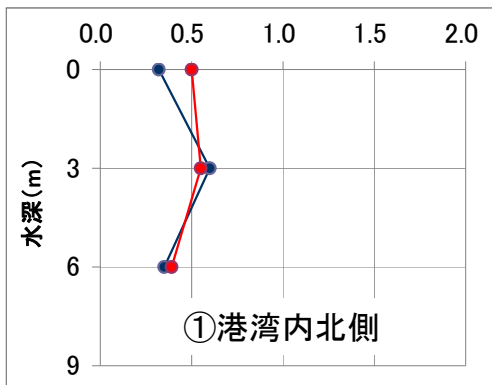
- ① 港湾内北側
- ② 港湾内東側
- ③ 港湾内南側
- ④ 港湾口
- ⑤ 南防波堤前
- ⑥ 東波除堤前
- ⑦ 物揚場前



被覆実施済

3. Cs-137濃度の測定結果

Cs-137濃度(Bq/L)



●:ろ過前
●:ろ過後
(ろ過:0.45μmミリポアフィルター)

Cs-137濃度はいずれの地点、いずれの深度においても、1Bq/L以下で同等若しくは低く、測定精度、時間的な変動を考慮すると深度による違いはないものと評価。

(参考) 東波除堤北側(開渠内)の海水セシウム濃度(ろ過後)の深度分布

【Cs-137濃度の測定結果 (2014年7月～8月調査)】

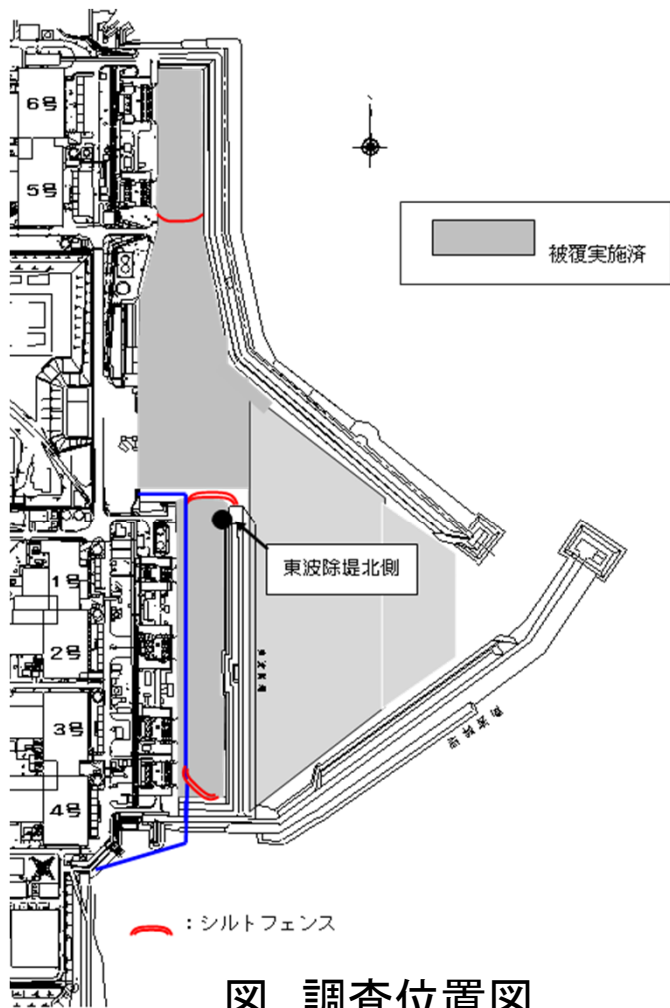
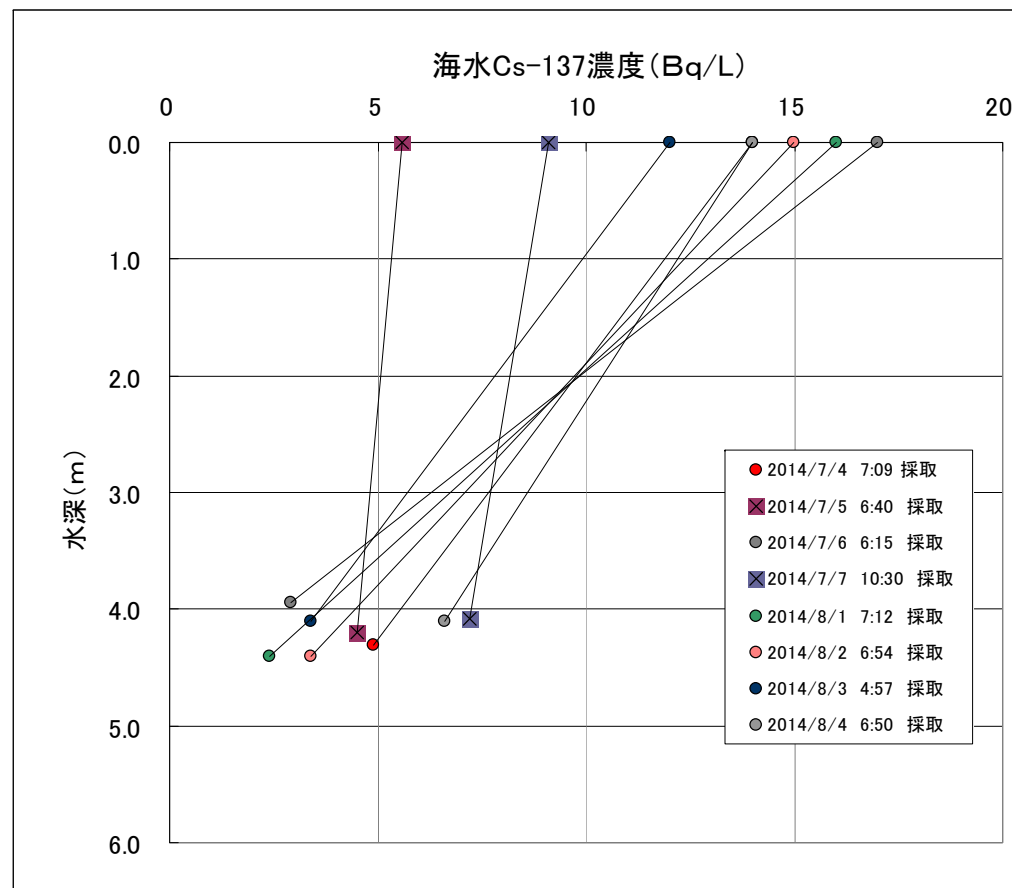


図. 調査位置図



※ サンプルング深度: 表層(水深0~0.5m)、海底の直上2m